

きほく通信

人権フェスタで署名活動

11月19日 和歌山ビッグホエール



ちゃんの絵はがき2016「カバー」などを販売しました。

森田事務局長の自坊の境内にある富有柿は無農薬で少し小ぶりでしたがとても甘いので毎年評判もよく、2時間ぐらいで完売しました。

神森和子会長さんのご親戚のおばあちゃん(95歳)手づくりのソックスカパーも人気があり、多くの方が手に取り品定めをしています。同じく神森敦子さんの



前日のあまりの快晴が19日も続いてほしいと思いつつ、当日の雨予報が恨めしかったのですが、幸い大降りもなくビッグホエール内外のブースやテントが大賑わいでした。このイベントには初回から和歌山県難病団体連絡協議会として毎年参加しているのですが、紀の川市患者会きほくも同ブースで「田舎坊主のほったらかし富有柿」や「あつたかソックス」



「あつたちゃんの絵はがき2016」は今年の新作でこれも参加者の目を引いていました。一方、同ブースでは国会請願署名も呼びかけられました。毎年この会場で「日本精武会」の会員さんたちが中国式演舞をステージ披露したあと署名を呼びかけてくれますが、今年はお出場時間が遅かったため事前に集めていただいた署名と募金3290円を代表の胡葉丹先生から贈呈いただきました。



なお当日の署名は和歌山県難病団体連絡協議会と きほくであわせて268筆でした。ご協力いただいた皆様方には本当にありがとうございます。



第60号
2016年
11月20日
発行

難病
患者家族会
きほく

医療・介護の見直しに懸念

1. 医療制度の見直し

(1) 高齢者の高額療養費制度の見直し

「高額療養費制度」では、世代間の公平を理由に3倍から4倍の負担増が検討されている。

(2) 後期高齢者医療の窓口負担の見直し

後期高齢者医療制度の窓口負担は、一般・低所得者は1割から2割に引上げが有力と思われる。

(3) その他の見直し

[かかりつけ医]以外を受診した場合、1割から3割の窓口負担に加えて1回100円から数百円の定額負担の導入や一般病棟における居住費(光熱費)負担の導入なども計画している。

2. 介護保険制度の見直し

要介護1、2の訪問介護、通所介護を保険給付から外し、「原則自己負担(一部補助)」とすること。さらに介護サービス利用料を2割に引き上げることも提起している。

3. 全体から考える

厚生労働白書によると40~59歳の男女の約8.4%が、高齢化の独り暮らしに不安を感じている。「病気になったときのこと」が最多で次に「寝たきりや身体が不自由になり、介護が必要になったときのこと」である。政府は、真摯に国民の声に耳を傾けるべきではないだろうか。

【会長】神森和子
紀の川市中三谷
【相談室】0736(75)4413
【事務局】〒649-6612 紀の川市北涌371
森田方 TEL 0736(75)4413